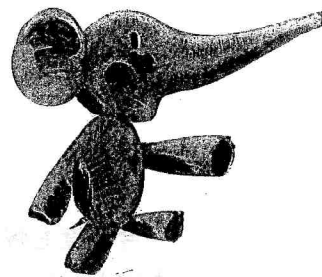


# ももたよい



H25. 3 中沢幼稚園 PTA

園長先生より

去る2月28日にことり組の子どもたちと雪遊び遠足に出かけました。

電車で浜松から豊橋、豊橋から飯田線特別快速で北上します。車中、子どもたちは暇を持って余すどころか、その渓谷沿いの景色に大興奮！蓬萊の湯谷温泉あたりでは川の水が「金色！光っている！」と大騒ぎ。山々が高くなり、天竜川がたつぷりと水流をかかえるようになる、今度は「緑の川だ！大きい！」とまたまた大騒ぎ。線路沿いの日の当たらない場所にところどころ雪が残っているのを見かけるようになってくるといよいよ天竜峡です。

観光案内所にリュックサックを置かせていただき、遊歩道に出発しました。お雛様を飾ってある写真館を覗くと、思いがけず、ご好意で写真を撮っていただき、折り紙から人数分の写真まで。たまたま春のような陽気になりましたが、幸いにも日蔭の公園には全く手つかずの状態が雪が残っており（中沢幼稚園を待っててくれたのでしょうか）雪合戦を楽しみました。さてそれからは天竜川の渓谷沿いを登ったり下りたり、なかなか急な階段もありましたが、子どもにとっては「すっげえ!!!」の連続。夢中になって先へ、先へと進んでいきます。途中ハラハラドキドキの吊り橋も通りました。またまた登って、登って、青空の下、アルプスを一望できる林檎園でひと休み。一汗かいた後の林檎ジュースの味は格別でした。林檎や林檎ジャム、さらに団子屋で焼いてもらった五平餅も皆よく食べました。食べた後はまた林檎畑でひと遊び。歩いて走って食べて遊んで最後は“若がえりの湯一貸し切り！”でその日一日の汗を流しました。湯船につかって女の子は口々に「つるつるになったよ！さわってみて」男の子は出たり入ったり泳いだり、と忙しかったようです。帰り支度を終えて駅で電車を待っていると林檎園の方が子どもたちに林檎のお土産を持ってきてくれました。遊歩道で荷物にならないように、との思いからです。ことり組にとって本当に素敵な一日となりました。

中沢幼稚園では園外保育を大切にしています。自家用車が普及した今、個々の家族単位で過ごす時間が主流になりました。様々な場所に公共機関を使って遠足に出かけることは子どもの“社会性”“自律性”を育むことにつながります。見知らぬ場所、人々と関わり、「世界って広いな」と感じることは言うまでもありませんが、計画した活動の流れの中で自分がどう動けばいいのか、周囲のどんなことに気を配ればいいのか等々、沢山のことを学んでいます。そして、そういう知恵というのは一生を通じて生きることです。

さて、今年度も残り少なくなってまいりました。中沢幼稚園へのご理解、ご協力にあらためて教職員一同御礼申し上げます。また次年度からも“子どものために”を第一に運営してまいりますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

